

複合語アクセント規則指導における効果

松崎 寛

Effects of Teaching Compound Words' Accent Rules

Hiroshi MATSUZAKI

1. 研究の目的

発音学習では、学習者が自らの誤用に気づき、訂正するための基準を獲得することが重要だと言われる。小河原 (1998) は、「学習者が妥当な発音基準を意識的にもって発音し、発音した自分自身の発音が基準どおりに発音できているかどうか自分で聴覚的に判定し、自己修正する (小河原 1998: 11)」能力、つまり自己モニター能力が重要であると述べている。

これを受けて松崎 (2002) は、学習者2名に自己モニター能力を向上させるための3ヶ月間の指導を行った結果を分析し、次のように結論している。

- ・妥当な発音基準が形成されていない場合、モデル音のリピートだけでは発音は改善されにくい
- ・学習者の自己訂正能力は、指導により向上する
- ・誤った知識は自己モニターの妨げとなり、何度リピートしても直らない原因となる

(松崎2002: 38)

この「誤った知識」とは、例えばアクセントであれば型に対する知識であるが、詳しく見た場合、学習者の「知識」には、語彙的な側面と文法的な側面がある。一語一語の型がどうであるかという知識は語彙的なものである。それに対して、以下のような、日本語のアクセントとはどういうものであるかに関わる知識は、アクセント生成に必要な包括的規則という点で、文法的であると言える。

- ・語ごとに型が決まっている。平板型、尾高型、中高型、頭高型。
- ・1拍目と2拍目は高さが違う。1語の中では、1度下がったら、もう上がらない。
- ・長音・撥音・促音・連母音の次の音では下がらない。
- ・無声化のため、高の部分が動くことがある。

(日本語教育学会編1991: 66)

ただし、学習者に「平板型」「中高型」などの概念を教える活動自体が発音学習において本当に有効かどうかに関して、松崎 (2001) は「一覧表のどこ

にどの語を含めたらきれいに整理できるかという「研究」のためのものが、学習に有効だという保証はない (松崎 2001: 216)」と疑問を呈し、生成に必要な高さの正確な指定がなく、誤った型を産出する危険のある「中高型」のような概念を排し、発音学習に有効な知識を体系的に与える方法を整備する必要があることを主張している。

この「平板型、尾高型、中高型、頭高型」という4分法の教育を良しとする考えが根強いのは、アクセント学習が名詞を中心として行われていることと無縁ではないと推察される。松崎・河野 (2005) が主張するように、動詞や形容詞などはアクセントが活用と規則的に対応しており、提出順を考慮した体系的学習が行いやすい。しかし名詞は、その型が恣意的にしか決まっていなかったため、数多くの語を整理し、規則性、体系性を見出す方法が、「型」による一覧表に収めること以外にないのである。

動詞や形容詞のアクセントが規則的なのは、日本語のアクセント規則全般にわたり、複数形態素が結合して1語になる際、後要素が語全体のアクセント型を決定するという性質があるためである。用言においてはその活用語尾あるいは接続形が、接辞のように振舞っているわけである。したがって名詞についても、単純語を1つ1つ暗記するように教えるより、複合語アクセントの規則を教えるほうが、生産性が高く有用であると考えられる。

そこで本稿では、韻律指導教材を用いて指導を行った結果、学習者にどのような変容が見られたかを、特に複合語アクセントに観点を絞って、分析、考察することにする。

2. 方法

指導前後にテストを実施し、複合語アクセント規則の理解度を測定する。指導効果の測定には様々な問題が生じる。長期にわたり指導を行った場合、学習者の能力の向上は指導だけが唯一の要因であるということは難しい。また特定の項目にのみ長時間か

けて指導を行い、前後に実施したテストの正答率からそれらの項目の定着度を見たものは、暗記力の測定結果であって、発音・聞きとり能力そのものの向上と言えるかどうか疑問が残る。

また、学習者の体系的変異 (variation) はタスクの難易度により異なるため、テスト方法如何で結果も変わる。つまり、下記の2点を満足させる実験計画をたてる必要がある。

(1) タスク (=テスト方法) の難易度を考慮した上で、聞きとりと発音の双方を測るべきである

(2) 「暗記力」ではない、学習者の言語知識を直接測るためのテスト方法が必要である

(1) のためには、聞きとり・発音のタスクの難易度を吟味する必要がある。語 (文節) 単位より文単位の方が難しいという問題は扱わないものとして、理論的に検討すると、テストの難易度は以下のような順で易→難となっていると考えられる。

【聞き】 a. 2語のアクセントが同じか違うか→ b. ある語のアクセントが正しいか正しくないか→ c. ある語のアクセントの高低がどうなっているか

【発音】 a. モデル直後のリピート→ b. しばらく時間をおいたリピート→ c. 語彙リストの読み上げ→ d. 会話内で注意深く発音→ e. 会話内で意識せず発音

しかしながら【発音】の d. e. は【聞き】と条件を統制して実験を実施することが難しい。そこで本研究では、【聞き】【発音】ともに c. の方法を採用する。

(2) のためには、上記の言語運用タスクのみならず、直接言語知識を測るための何らかの【知識】の確認が必要である。しかし、これは実施方法の開発が難しい。ひとまず、複合語の問題文を仮名で示し、「次のことばのアクセントはどうなっていますか。アクセント用の補助記号をつけてください」という指示を与え、自由に記述させることにする。

学習者は、東広島市内の某センターの教師研修に参加した韓国人高校日本語教師10名である。指導時間は45分×3時間の授業を3日分、テスト時間等を除くと約350分間である。この時間で河野他 (2004) 「1日10分の発音練習」の0-1, 0-2, 0-3, 0-4, 0-5, 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 4-1, 4-2, 5-6, 7-6を指導した。教材は完全な積み上げ式のシラバスではないが、相互に関連しあい、後に行くほど難しい項目となる。なお、この中で、複合語アクセントのテスト項目に直接関わるの

は、5-6, 7-6 (巻末資料参照) だけであり、その指導時間は30分程度である。

テスト実施の順番に関しては、モデル発音を与える【聞き】を最初に実施してはいけないということと、【知識】が【発音】【聞き】の影響を受けないようにするという考えから、【知識】→【発音】→【聞き】の順とした。

テストは3者とも、表1①~⑳の文をランダムに並べ、仮名で書いたものを与えて行った。

【知識】のシートは記入直後に回収した。【発音】では自分が書いた記号は見せず、文字だけを読ませた。【聞き】は本研究者の読み上げを2回ずつ聞かせて【知識】同様、好きな方法で書かせた。

①~⑦は後要素の最初の音で下がる語、⑧⑨は平板になる語、⑩~⑳の前要素の最後の音で下がる語である。指導後テストには、授業で扱わなかった語を6問含めた。表1の「前」が空欄となっている⑨⑫⑬⑭⑮⑯がそれぞれである。⑨⑫⑬⑭⑮は、授業で扱った⑧⑪⑬⑯と同じ規則で処理できる後要素、⑦⑳は、初めて見る後要素である。

表1 複合語アクセント指導前後の正答数 (10点満点)

	【知識】		【発音】		【聞き】	
	前	後	前	後	前	後
①東京大学です	3	7	0	0	3	7
②ロンドン大学です	2	7	0	2	2	8
③フランス料理です	3	7	1	2	2	9
④スペイン料理です	1	8	1	3	0	8
⑤かばん売り場です	2	7	2	4	2	7
⑥めがね売り場です	1	7	1	5	1	6
⑦料理学校です		2		2		7
⑧中国語です	1	5	0	0	3	6
⑨ポルトガル語です		5		0		6
⑩京都駅です	1	7	4	6	2	9
⑪東京駅です	0	4	1	2	0	5
⑫上野駅です		3		5		7
⑬フランス人です	1	6	1	4	0	7
⑭イラン人です	2	7	0	4	4	9
⑮日本人です	1	6	2	2	1	5
⑯宇宙人です		4		5		5
⑰横浜市です	1	9	4	4	1	7
⑱ホーチミン市です		3		2		4
⑲神奈川県です	1	7	4	6	0	9
⑳テレビ局です		0		4		2
M	1.43	5.55	1.50	3.1	1.5	6.65
M (「後」の数値から⑦⑨⑫⑬⑭⑮⑯を除外)	1.43	6.71	1.50	3.14	1.5	7.29

3. 結果と考察

まず全体的傾向として、【知識】【発音】【聞き】ともに、指導後の得点が指導前より低くなった語は

皆無で、指導により成績が向上している。音声指導に充てたのは6時間弱、そのうちテストに関わる複合語アクセント2課分の指導時間は、実質30分程度だが、それでも十分な効果があることがわかる。

資料1・2・3のように、指導後は、正答も誤答も前後要素の境界に近い位置1箇所を核を置くものが多く、複合語アクセントの基本的な規則が学習されたものと解釈できる。

【知識】と【聞き】は、指導後の正答率が向上する。【発音】も向上するが、両者ほどではなく、誤答傾向も異なり、実現が困難であることがわかる。3者とも指導前は1語をヤマ2つにする誤答が多い。指導後の表記方法は下がり目1箇所を表記する方法で統一された。

【知識】と【聞き】の一致率は、指導後の14問中76%で、学習者はモデル音声聞きとりより自己の知識を優先して解答する傾向が強い。松崎(2002)の「誤った知識は自己モニターの妨げとなる」という指摘と一致する。

磯村(1996)は、学習者のアクセント型の知識と聞き取り能力の関係を分析し、聞き取りの成績が良いほど型を正しく覚えており、逆に、正確でない知識は聞き取りの妨げになると述べている。また、石鍋(2001)は韓国人学習者に単語識別テストを実施し、語彙知識が清濁の聞き分けに影響を与えることを指摘している。

これらは聞き取り・発音テストの点数を能力に直結させるのではなく、語ごとの知識を考慮すべきだとする例証として、興味深い。産出・受容能力の向上には正確な知識が必要となると同時に、知識と聞きの違いを認知し自己修正する力が必要なが示唆される。ただし今回は、モデル発音の【知識】への影響を避けるため【知識】→【発音】→【聞き】の順で試験を行ったので、知識がテストにより強化され、【聞き】に影響した可能性は十分に考えられる。

【発音】の場合は【知識】【聞き】と異なり、指導後の正答率も低い。特に平板になる⑧⑨「～語です。」の得点は0であり、平板型の実現が困難であることがわかる。しかしその他の項目に関しては、知識に従った上で発音の段階で失敗したのか、それとも別の要因があるのかは、今回の結果からは断定できない。今後の課題である。

授業で扱った語と同じ規則で処理できる⑨⑫⑬⑭

は成績上位群で正答が多い。全く新しい⑦⑩の正答率はやはり低いが、【発音】10例中、「料理学校」では「理」の誤答が3例、「テレビ局」では「きよ」の誤答が5例あった。これらは複合語アクセントの基本規則は習得したが、個別に適用すべき規則の選択を誤ったものであると解釈でき、語頭を核とする全くの誤りとは異なる、より目標言語に近い誤答と言える。

今後の課題としては、学習者のアクセントの【知識】を測定する妥当な方法を追究することや、【発音】【聞き】【知識】のテストの実施順序が結果に影響しないかを検証し、より良い調査方法を開発することなどが考えられる。

引用文献

石鍋浩(2001)「学習者の杞憂語彙知識が日本語破裂音の知覚に与える影響について—韓国人学習者を対象に—」『2001年度日本語教育学会春季大会予稿集』。

磯村一弘(1996)「アクセント型の知識と聞き取り—北京語を母語とする日本語教師における東京語アクセントの場合—」『第10回日本音声学会全国大会予稿集』。

小河原義朗(1998)「外国人日本語学習者の発音学習における自己モニターの研究」東北大学文学部博士学位論文。

河野俊之・申田真知子・築地伸美・松崎寛(2004)「1日10分の発音練習」くろしお出版。

日本語教育学会編(1991)「日本語教育機関におけるコース・デザイン」凡人社。

松崎寛(2001)「日本語の音声教育」『日本語教育学シリーズ第3巻 コンピュータ音声学』第5章、おうふう。

松崎寛(2002)「レポートのとき学習者は何を考えて発音しているか」『広島大学日本語教育研究』第12号、広島大学大学院教育学研究科。

松崎寛・河野俊之(2005)「アクセントの体系的教育を目的とした音声評価研究」『日本語教育』125号。

本研究は、基盤研究(c)「日本語韻律指導のための教師用指導書の開発」(課題番号19520459)による研究成果の一部である。

資料1： 複合語アクセント指導実践の結果 知識を問う問題（網掛けは正答）

	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
東京大学です	だ ^v	大学です高	だ ^v	東京大学高	と・きよ・だ高	い高	東京高	大学高	と [・] だ ^v	だ ^v
ロンドン大学です	だ ^v	大学です高	ロ ^v	ロンドン大学高	全部高	だ ^い ・が ^高	ロンドン高	大学高	ロ [・] だ ^v	だ ^v
フランス料理です	りよ ^v	料理です高	りよ ^v	フランス料理高	ラ [・] りよ ^高	フ [・] う ^高	フランス高	料理高	ラ [・] りよ [・]	りよ ^v
スペイン料理です	りよ ^v	料理です高	べ ^v	スペイン料理高	ペ [・] 料理高	ン [・] りよ ^高	スペイン高	料理高	ペ [・] りよ ^高	べ ^v
かばん売り場です	ば [・] う ^v	売り場です高	う ^v	かばん高	ば高	ん [・] 場高	かばん高	かばん高	ば [・] 売り場 ^で 高	う ^v
めがね売場です	が ^v	がね売り場です高	う ^v	め高	め [・] り高	り高	売り場高	全部高	め [・]	が ^v
中国語です	ちゆ ^v	中高	ちゆ ^v	中 ^こ 高	中 [・] 語高	中 [・] 語高	中高	国語高	平 ^ら	ちゆ ^v
京都駅です	え ^v	京都高	え ^v	京都駅高	と高	京 [・] え高	京都高	京都高	京 ^都 え ^高	と ^v え ^v
東京駅です	え ^v	駅です高	え ^v	東京駅高	と・きよ高	東京高	東京高	東京駅高	と [・] え [・]	と ^v
フランス人です	ラ ^v	フランス人です高	じ ^v	フランス高	ラ高	フランス人高	人高	フランス人高	ラ [・]	ラ ^v
イラン人です	ラ ^v	イラン人です高	じ ^v	イラン高	全部高	人高	人です高	イラン人高	ラン ^人 で ^高	ラ ^v
日本人です	ほ ^v	日本人です高	じ ^v	日本高	ほ高	人高	人高	日本人高	日本 ^人 で ^高	ほ ^v
横浜市です	は ^v	横浜市です高	し ^v	横浜高	し高	し高	市です高	全部高	全部高	こ ^v
神奈川県です	け ^v	神奈川県です高	け ^v	神奈川高	全部高	け高	神奈川県高	川県高	な [・] け ^高	が ^v け ^v
	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後
東京大学です	が ^v	だ [・]	きょう [・]	だ [・]	だ [・]	きょう [・]	だ [・]	だ [・]	だ [・]	だ [・]
ロンドン大学です	ド ^v	だ [・]	ロン [・]	だ [・]	だ [・]	ン [・]	だ [・]	だ [・]	だ [・]	だ [・]
フランス料理です	無し	りよ [・]	りよ [・]	りよ [・]	フランス ^{りよ} 高	ス [・]	りよ [・]	りよ [・]	りよ [・]	り [・]
スペイン料理です	りよ ^v	りよ [・]	りよ [・]	りよ [・]	スペイン ^{りよ} 高	ン [・]	りよ [・]	りよ [・]	りよ [・]	べ [・]
かばん売り場です	う ^v	う [・]	う [・]	う [・]	う [・]	ん [・]	ば [・]	う [・]	う [・]	ん [・]
めがね売場です	無し	う [・]	う [・]	う [・]	う [・]	ね [・]	ば [・]	う [・]	う [・]	う [・]
料理学校です	無し	りよ [・]	り [・]	が [・]	料理高	り [・]	こ ^う	が [・]	り [・]	料 [・]
中国語です	く ^v	平 ^ら	く ^こ	平 ^ら	平 ^ら	く ^こ	く ^こ	平 ^ら	平 ^ら	ちゆ [・]
ポルトガル語です	無し	平 ^ら	ご [・]	平 ^ら	平 ^ら	ご [・]	ガ ^ル	平 ^ら	平 ^ら	ポ [・]
京都駅です	え ^v	と [・]	と [・]	と [・]	京 ^都 高	と [・]	と [・]	え [・]	と [・]	き [・]
東京駅です	え ^v	きよ [・]	きょう [・]	きよ [・]	きよ [・]	きょう [・]	きょう [・]	え [・]	きよ [・]	き [・]
上野駅です	き ^v	の [・]	え [・]	の [・]	え [・]	え [・]	の [・]	え [・]	え [・]	き [・]
フランス人です	ン高	ス [・]	ス [・]	ス [・]	ス [・]	じん [・]	ス [・]	じ [・]	ス [・]	ラ [・]
イラン人です	じ ^v	ラ [・]	ラ [・]	ラ [・]	ラ [・]	ラ [・]	ン [・]	ラ [・]	ラ [・]	ン [・]
日本人です	じ ^v	じ [・]	ほん [・]	じ [・]	じ [・]	じん [・]	ほん [・]	じ [・]	じ [・]	じん [・]
宇宙人です	じ ^v	ちゆ [・]	ちゆう [・]	ちゆ [・]	ちゆう [・]	ちゆう [・]	ちゆう [・]	ちゆ [・]	ちゆ [・]	ん [・]
横浜市です	こはま ^高	ま [・]	ま [・]	ま [・]	横浜高	し [・]	ま [・]	ま [・]	ま [・]	ま [・]
ホーチミン市です	無し	ミ [・]	ン [・]	ミ [・]	ホーチミン ^高	し [・]	ン [・]	ミ [・]	ン [・]	し [・]
神奈川県です	け ^v	わ [・]	わ [・]	わ [・]	わ [・]	わ [・]	わ [・]	け [・]	わ [・]	ん [・]
テレビ局です	きよ ^v	テ [・]	きよ [・]	きよ [・]	テレビ局 ^高	く [・]	く [・]	きよ [・]	きよ [・]	く [・]

(「v」はその文字にくさび等が、「高」はその文字に高い傍線があることを表す。)

資料2： 複合語アクセント指導実践の結果 発音問題（網掛けは正答）

	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
東京大学です	が ¹	東京 ¹ ・ ^い が ^高	大学 ^高	京 ¹ ・が ^v	東京 ¹ ・ ^い が ^高	東京 ¹ ・が ^高	東京 ¹ ・ ^い が ^く で ^高	が ^v	大 ^高	京 ¹ ・が ¹
ロンドン大学です	ドン ¹ ・ ^が ¹	ロンドン ¹ ・ ^い が ^高	大学 ^高	ドン ¹ ・ ^が ^v	ロンドン ¹ ・ ^い が ^く 高	だ ^い が ^高	ロンドン ¹ ・ ^い が ^く で ^高	が ^v	ドン ¹	ドン ¹ ・ ^が ¹
フランス料理です	ン ¹ ・ ^り ¹	ン ¹ ・ ^料 ¹	ラン ¹ ・ ^ス ・ ^う り ^高	ン ¹ ・ ^り よ ^う ^v	ラン ¹ ・ ^料 高	ラン ¹ ・ ^う 高	ラン ¹ ・ ^ス ・ ^理 高	り ^よ ^v	ス ¹ ・ ^料 高	ン ¹ ・ ^う ¹
スペイン料理です	ン ¹	ペ ^い ン ¹ ・ ^料 高	ペ ^い ・ ^料 高		ペ ^い ・ ^料 高	料 ^高	り ¹	り ^よ ¹	ン ¹ ・ ^う ¹	ン ¹ ・ ^う ¹
かばん売り場です	う ¹	売 ^高	売 ^り 高	ば ^ん ・ ^り 高	売 ^り 高	ば ^ん ・ ^り 高	場 ¹	う ^v	ば ^り ¹	ん ^り ¹
めがね売場です	う ¹	が ¹ ・ ^売 高	売 ^り 高	が ¹ ・ ^り ^v	め ^り 高	が ^ね ・ ^り 高	ね ^り 高	が ^り ^v	め ¹	が ¹ ・ ^場 ¹
中国語です	ちゅう ¹	中 ^ご 高	く ^ご	ちゅう ^ご ^v	ちゅう ^ご 高	中 ^ご	く ^ご	く ^ご	ちゅう ¹	ちゅう ¹
京都駅です	と ¹	と ¹	駅 ^高	と ^v	え ¹	京 ^都 ・ ^き 高	き ¹	え ^v	と ¹	う ¹
東京駅です	京 ¹	え ¹	駅 ^高	京 ^v	え ¹	東 ^京 ・ ^き 高	き ¹	京 ¹	き ^よ ¹	京 ¹
フランス人です	ス ¹	ン ¹	ラン ¹ ・ ^ス 人 ^高	ン ^v	ラン ^高	ラン ^高	じん ¹	じ ¹	フラン ¹ 高	ン ¹
イラン人です	ン ¹	ラン ^高	じ ^v	ン ^v	ラン ^高	ン ¹	で ¹	じ ¹	ラン ¹	ン ¹
日本人です	じ ¹	ほ ^高	本 ^人 高	ほ ^v	ほ ¹	ほん ¹	で ¹	じ ¹	ほ ^高	本 ¹
横浜市です	は ¹	ま ¹	し ^高	こ ^は ・ ^し 高	ま ¹	し ¹	市 ¹	し ^v	ま ¹	ま ¹
神奈川県です	が ¹	わ ¹	県 ^高	わ ^v	が ¹	け ¹	で ¹	が ^v け ^v	わ ¹	わ ¹
	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後
東京大学です	京 ¹	大 ¹	が ¹	京 ¹ ・が ^v	大 ¹	東京 ¹ ・ ^い 高	京 ¹ ・ ^い が ^高	学 ¹	大 ^高	京 ¹ ・が ¹
ロンドン大学です	ドン ¹ ・ ^が ¹	だ ^い が ¹	学 ¹	ロンドン ¹ 高	大 ¹	ロンドン ¹ ・ ^い 高	大 ¹	が ¹	だ ¹	ドン ¹ ・ ^が ¹
フランス料理です	ン ¹	料 ¹	ス ¹	ラン ¹ ・ ^料 高	り ^よ ¹	ラン ¹ ・ ^う 高	ラン ¹ ・ ^ス ・ ^理 高	り ^よ ¹	ス ¹ ・ ^料 高	ン ¹ ・ ^う ¹
スペイン料理です	ン ¹	ペ ^い ン ¹ ・ ^料 高	ン ¹	ペ ^v	り ^よ ¹	ペ ¹	ン ¹	り ^よ ¹	ン ¹ ・ ^う ¹	り ^よ ¹
かばん売り場です	ん ¹	売 ^高	売 ^高	ば ^ん ・ ^り 高	う ¹	かばん ^高	う ¹	う ¹	う ¹	り ¹
めがね売場です	ね ¹	う ¹	売 ^高	が ¹ ・ ^売 高	う ¹	が ^ね ・ ^り 高	ね ^り 高	う ¹	う ¹	う ¹
料理学校です	理 ¹	料 ¹	校 ¹	料 ¹ ・ ^こ 高	が ¹	こ ¹	校 ¹	が ¹	り ¹	り ¹ ・ ^校 ¹
中国語です	ちゅう ¹	中 ^ご 高	く ^ご	ちゅう ^ご ^v	ちゅう ^ご 高	く ^ご	く ¹	く ^ご	ちゅう ¹	ちゅう ¹
ポルトガル語です	ト ¹	ガ ¹	ゴ ¹	ガ ¹	ガ ¹	ゴ ¹	ガル ¹	ガ ¹	ガ ¹	ル ¹
京都駅です	と ¹	と ¹	と ¹	と ^v	え ¹	京 ^都 ・ ^き 高	と ¹	え ^v	え ¹	と ¹
東京駅です	き ^よ ¹	京 ¹	き ^よ ^う	え ^v	え ¹	き ^よ ^う	き ^よ ^う	え ¹	東 ^高	き ^よ ¹
上野駅です	の ¹	の ¹	上 ¹	の ^え ^v	の ^え ¹	え ¹	の ¹	の ^え ¹	の ¹	の ¹
フランス人です	ン ¹	ン ¹	人 ¹	ス ¹	ラン ^高	ラン ^高	ス ¹	じ ¹	ス ¹	ス ¹
イラン人です	ン ¹	ラ ¹	ン ¹	ン ^v	ラ ¹	ン ¹	ン ¹	じ ¹	ラ ¹	ラ ¹
日本人です	本 ¹	本 ¹	人 ¹	本 ^v	じ ¹	ほん ¹	人 ¹	じ ¹	人 ¹	全部 ^高
宇宙人です	宙 ¹	ちゅ ¹	宙 ¹	ちゅ ^v	ちゅ ¹	じ ¹	宙 ¹	宙 ¹	ちゅ ¹	ちゅ ¹
横浜市です	ま ¹	ま ¹	し ¹	は ¹ ・ ^市 高	は ¹	し ¹	ま ¹	し ¹	は ¹	ま ¹
ホーチミン市です	ン ¹	ミ ¹	ン ¹	市 ¹	ミ ¹	し ¹	ン ¹	し ¹	ー ¹	ー ¹
神奈川県です	わ ¹	わ ¹	わ ¹	わ ^v	が ¹	け ¹	わ ¹	け ¹	が ¹	わ ¹
テレビ局です	ビ ¹	テ ¹	き ^よ ¹	ビ ^v	き ^よ ¹	き ^よ ¹	ビ ¹	き ^よ ¹	き ^よ ¹	ビ ¹

(「v」はその文字にくさび等が、「高」はその文字に高い傍線があることを表す。)

資料3： 複合語アクセント指導実践の結果 聞き取り問題（網掛けは正答）

	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
東京大学です	東京大学高	東・大高	東京大高	大学で高	だ ^v	大学高	大学高	だ ¹	だ ^v	東京高
ロンドン大学です	ロンドン大学高	ロン高	大学です高	大学で高	だ ^v	大学高	ト高	だ ¹	だ ^v	ロンドン大学高
フランス料理です	ランス料理高	ラン高	料理です高	料理で高	り ^{yv}	料理高	フランス料理高	ら ¹ り ^y	り ^{yv}	フランス料理高
スペイン料理です	ペイン料理高	ペイ高	料理です高	料理で高	べ ^v	料理高	スペイン高	全部高	べ ^v	スペイン高
かばん売り場です	ばん売り場高	売り高	売り場です高	売り場で高	う ^v	かばん高	かばん売り場高	う ¹	ば ^v	かばん高
めがね売場です	眼鏡売り場高	ねう高	め・う高	売り場で高	が ^v	全部高	が高	う ¹	が ^v	眼鏡売り場高
中国語です	くご	ちゆ高	中国語高	語で高	ちゆ ^v	平ら	平ら	平ら	ちゆ ^v	中国語高
京都駅です	都駅高	きよ高	駅です高	と駅で高	きよ ^v	京都駅高	平ら	全部高	と ^v	京都高
東京駅です	東京駅高	東高	東京高	駅で高	と ^v	京駅高	東京駅高	え ¹	と ^v	東京高
フランス人です	ランス人高	ラン・人高	人です高	フランス人で高	ラ ^v	ンス高	平ら	ン ¹	ラ ^v	フランス人高
イラン人です	ラン人高	ラ高	人です高	ラ高	ラ ^v	ラン高	イラン人高	ラ ¹	ラ ^v	ラン人高
日本人です	日本人高	本高	人です高	日本人で高	じ ^v	本高	平ら	ほ ¹	ほ ^v	本人高
横浜市です	横浜市高	はま高	浜市です高	こはまし高	は ^v	全部高	横浜市高	ま ¹	こ ^v	横浜市高
神奈川県です	ながわけ高	わけ高	川県です高	か・が・け高	け ^v	川県高	神奈川県高	が ¹	け ^v	県高
	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後
東京大学です	だ ¹	きょう ¹	だ ¹	きよ ¹	だ ^v	だ ¹	きょう ¹	だ ¹	だ ¹	だ ¹
ロンドン大学です	だ ¹	ドン ¹	だ ¹	く ¹	だ ^v	だ ¹	だ ¹	だ ¹	だ ¹	だ ¹
フランス料理です	り ^y	り ^y	り ^y	り ^y	り ^{yv}	り ^y	ス ¹	り ^y	り ^y	り ^y
スペイン料理です	り ^y	り ^y	り ^y	り ¹	り ^{yv}	り ^y	ン ¹	り ^y	り ^y	り ^y
かばん売り場です	う ¹	う ¹	う ¹	ば ¹	う ^v	う ¹	ん ¹	う ¹	う ¹	ば ¹
めがね売場です	う ¹	う ¹	う ¹	ば ¹	う ¹	う ¹	ね ¹	う ¹	り ¹	ば ¹
料理学校です	が ¹	が ¹ つ	が ¹	こう ¹	が ^v	が ¹ つ	が ¹ つ	り ¹ が ¹	が ¹	こう ¹
中国語です	平ら	くご	平ら	平ら	平ら	平ら	くご	平ら	くご	くご
ポルトガル語です	平ら	ご	平ら	平ら	平ら	平ら	ご	平ら	ご	ガル ¹
京都駅です	と ¹	と ¹	と ¹	と ¹	と ^v	え ¹	と ¹	と ¹	と ¹	と ¹
東京駅です	きよ ¹	きょう ¹	きよ ¹	きょう ¹	きよ ^v	え ¹	きょう ¹	きよ ¹	きよ ¹	きょう ¹
上野駅です	の ¹	の ¹	の ¹	の ¹	え ^v	え ¹	の ¹	え ¹	の ¹	の ¹
フランス人です	ス ¹	ス ¹	ス ¹	じん ¹	じ ^v	じ ¹	ス ¹	ス ¹	ス ¹	ス ¹
イラン人です	ラ ¹	ラ ¹	ラ ¹	ラ ¹	ラ ^v	ラ ¹	ラ ¹	ラ ¹	ラ ¹	ン ¹
日本人です	じ ¹	ほん ¹	じ ¹	じん ¹	じ ^v	じ ¹	ほん ¹	じ ¹	じん ¹	ほん ¹
宇宙人です	ちゆ ¹	ちゆう ¹	ちゆ ¹	ちゆう ¹	じ ^v	ちゆ ¹	ちゆう ¹	ちゆ ¹	ちゆ ¹	ちゆう ¹
横浜市です	ま ¹	ま ¹	ま ¹	ま ¹	こ ^v	し ¹	し ¹	ま ¹	ま ¹	ま ¹
ホーチミン市です	ミ ¹	ン ¹	ミ ¹	ン ¹	ン ¹	し ¹	ン ¹	ミ ¹	ミ ¹	ン ¹
神奈川県です	わ ¹	わ ¹	わ ¹	わ ¹	わ ^v	け ¹	わ ¹	わ ¹	わ ¹	わ ¹
テレビ局です	きよ ¹	び ¹	きよ ¹	きよ ¹	きよ ^v	きよ ¹	び ¹	きよ ¹	く ¹	きよ ¹

(「v」はその文字にくさび等が、「高」はその文字に高い傍線があることを表す。)

5-6 アクセント(4) 「フランス料理」

練習0 ①~⑩は、どの音で下がりますか。最初に下がりますか。最初に下がる(▽)音の文字を書いてください。

- ①() ②() ③() ④() ⑤()
 ⑥() ⑦() ⑧() ⑨() ⑩()

練習1 「～大学」「～料理」「～売り場」のアクセントは、「～」が何でも「～だいがく」「～りょうり」「～りば」です。「～語」は、下がりがありません。

① 	② 	③ 	④
⑤ 	⑥ 	⑦ 	⑧
⑨ 	⑩ 	⑪ 	⑫

練習2 ①~③は、どんなアクセントですか。

- ① 広島大学の学生です。
 ② a:眼鏡売り場はどこですか。 b:時計売り場のとなりです。
 ③ a:タイ料理と韓国料理とどちらがいいですか。 b:どちらでもいいです。

① 	②
③ 	

7-6 アクセント(5) 「フランス人」

練習0 ①~⑩は、どの音で下がりますか。最初に下がる音のひらがなカタカナを書いてください。

- ①() ②() ③() ④() ⑤()
 ⑥() ⑦() ⑧() ⑨() ⑩()

練習1 「～人」「～駅」「～市」「～じん」は、「～じん」「～えき」「～けん」「～し」です(a)。長い音のすぐ後ろでは下がりがありません(b)。長い音の中で下がります(c)。「日本人」は「にほんじん」です(d)。

(a) 	(b) 	(c) 	(d)
① 	② 	③ 	④
⑤ 	⑥ 	⑦ 	⑧

練習2 ①②は、どんなアクセントですか。

- ① a:あの人は中国人ですか。日本人ですか。b:韓国人です。韓国の人です。
 ② a:国際センターへどうやって行きましたか。
 b:国際センター駅から歩いて行きました。

① 		
② 		